科目名	がん看護学特講Ⅱ	分野・必選別・単位数	専門科目 (がん看護学)	選択	2単位

担当教員	◎教授　南川雅子						
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	前期	授業方法	講義

授業の概要	がん看護の基盤となる医学的専門知識を深める。
授業の到達目標	1. がんの概念やがん細胞の特徴について概説できる。 2. がん疾患の疫学的動向と国のがん対策について概説できる。 3. がんの病態生理について理解し、診断と治療過程の概要について説明できる。

授業計画

回数	担当者	行動目標
1	南川　雅子　教　授	がんの概念、腫瘍学 がんの概念、がんの診断、集学的治療、がん治療をとりまく倫理的課題について説明できる。
2	南川　雅子　教　授	がんの疫学、発がんリスクと予防、国のがん対策 がん疾患の疫学的動向、発がんリスクと予防方法、がん対策基本法について説明できる。
3	南川　雅子　教　授	呼吸器腫瘍の病態生理と診断・治療 肺がんの病態生理と診断・治療について説明できる。
4	南川　雅子　教　授	呼吸器腫瘍の病態生理と診断・治療 肺がんの病態生理と診断・治療について説明できる。
5	南川　雅子　教　授	造血器腫瘍の病態生理と診断・治療 造血器腫瘍の病態生理と診断・治療について説明できる。
6	南川　雅子　教　授	消化器腫瘍の病態生理と診断・治療 消化器腫瘍(上部消化管・下部消化管)の病態生理と診断・治療について説明できる。
7	南川　雅子　教　授	消化器腫瘍の病態生理と診断・治療 消化器腫瘍(肝臓・胆嚢・膵臓)の病態生理と診断・治療について説明できる。
8	南川　雅子　教　授	脳・神経腫瘍の病態生理と診断・治療 脳・神経腫瘍の病態生理と診断・治療について説明できる。
9	南川　雅子　教　授	脳・神経腫瘍の病態生理と診断・治療 脳・神経腫瘍の病態生理と診断・治療について説明できる。
10	南川　雅子　教　授	女性生殖器腫瘍の病態生理と診断・治療 女性生殖器腫瘍(乳房、子宮、卵巣)の病態生理と診断・治療について説明できる。
11	南川　雅子　教　授	女性生殖器腫瘍の病態生理と診断・治療 女性生殖器腫瘍(乳房、子宮、卵巣)の病態生理と診断・治療について説明できる。
12	南川　雅子　教　授	泌尿器系腫瘍の病態生理と診断・治療 泌尿器系腫瘍(前立腺、膀胱、腎臓)の病態生理と診断・治療について説明できる。
13	南川　雅子　教　授	頭頸部腫瘍の病態生理と診断・治療 頭頸部腫瘍(口腔、咽頭、喉頭、上顎)の病態生理と診断・治療について説明できる。
14	南川　雅子　教　授	頭頸部腫瘍の病態生理と診断・治療 頭頸部腫瘍(口腔、咽頭、喉頭、上顎)の病態生理と診断・治療について説明できる。
15	南川　雅子　教　授	運動器腫瘍の病態生理と診断・治療 運動器腫瘍(骨、筋肉)の病態生理と診断・治療について説明できる。

事前事後学修の内容およびそれに必要な時間		
	【事前学修】	指定したテキストの次回授業部分を事前に読んでおくこと。 次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。

教科書	日本臨床腫瘍学会:新臨床腫瘍学, 南江堂, 2012.
参考書	
成績評価の方法および基準	プレゼンテーションと質疑応答30%、レポート70%により評価する。
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP2が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。